

平成26年9月3日
一般社団法人日本自動認識システム協会
研究開発センター 酒井

第1回 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会 議事録

1. 日時：平成26年9月3日 15:00～17:00
2. 場所：一般社団法人 日本自動認識システム協会 (JAISA) B会議室
3. 次第：

- | | | |
|-------------|-------|---------|
| 1. 開会の挨拶 | 事務局 | 15:00 ～ |
| 2. 配布資料の確認 | 事務局 | 15:01 ～ |
| 3. 議事 | | |
| 1) 委員長挨拶 | 半谷委員長 | 15:05 ～ |
| 2) 委員自己紹介 | 各委員 | 15:06 ～ |
| 3) 本年度の計画概要 | 事務局 | 15:15～ |
| 4) 調査計画説明 | 中村委員 | 16:00～ |
| 5. 事務連絡 | 事務局 | 16:50 ～ |
| 1) 今後の日程 | | |
| 2) 写真撮影など | | |

4. 出席者：(敬称略)

[委員]

- | | |
|---------------------|----------------|
| ○半谷精一郎 東京理科大学 | ○埴俊浩 日本電気(株) |
| ○寶木和夫 (独法)産業技術総合研究所 | ○平岡良彦 セコム(株) |
| ○吉田稔 西宮市情報センター | ○鷲宏行 (株)NTTデータ |
| ○村上秀一 (株)日立製作所 | ○平野誠治 凸版印刷(株) |
| ○中村敏男 (株)OKI ソフトウェア | ○齋藤雄一郎 富士通 (株) |

[オブザーバ]

- | | |
|--------------|---------------|
| ○高田直幸 セコム(株) | ×山田徳幸 日本電気(株) |
| ○岩永敏明 経済産業省 | ×中山和泉 経済産業省 |

[事務局]

- 酒井康夫 (一社)日本自動認識システム協会
○山口理津子 (一社)日本自動認識システム協会

5. 配布資料

- 資料1：第1回生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会アジェンダ
資料2：生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会名簿
資料3：「生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発」事業計画概要
資料4：平成26年度スケジュール
資料5：調査計画について

6. 議事内容

1) 開会の挨拶

(一社)日本自動認識システム協会(J A I S A)事務局より、開会の挨拶あった。

2) 委員長挨拶および委員自己紹介

半谷委員長より委員長のご挨拶をいただいた後、メンバから自己紹介があった。

3) 本年度の計画概要

資料3を用いて、「生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発」事業の概要の説明があった。また資料4を用いて、プロジェクトのスケジュールについての説明があった。

(詳しくは資料3および資料4を参照のこと)

委員長より、災害が増え生体認証によるシステムの活用の可能性が広がってきていること、また個人情報保護の問題もかかわるため、情報の取り扱いについて自治体との話し合いが必要との意見があった。

4) 調査計画説明

(株)OKIソフトウェアの中村委員より、資料5を用いて、「調査計画について」の説明があった。(詳しくは資料5を参照のこと)

資料5の「3. インターネット調査1」の各自治体の避難所に関する調査報告で、各自治体の回答が具体的な準備をしていないとの数値が出ているが、政府による調査発表で2013年に災害予測値がでている。そこから各自治体が動いている可能性があるので、今の資料内容だと数値が低いのではないかと、との意見があった。

意見と討議を受け、見方を変え、事前に登録できている状況も考えることとなった。

登録できている場合の支援と被災後に登録した場合の支援とを比較するような形で方向性を検討することを考え、また、将来的に、協力してくれる組織、行政などをどういうところを選んでいくかを考えていくこととなった。

5) 次回以降の予定等 (仮)

- ・第2回委員会： 11/ 7 (金) 15 : 00～17 : 00
- ・第3回委員会： 12/12 (金) 15 : 00～17 : 00

以上